

「梨とアカウミガメのふるさと～小沢小学校区」

1 小島梨

小沢小学校区は、農業がさかんで、白菜やキャベツ、ミニトマトなどいろいろな農作物が作られています。なかでも梨作りが盛んで、「小島梨」という名で売り出され有名です。4月には白い梨の花が咲き、3年生の子どもたちが校区探検に出かけた5月下旬には、小さな実ができていました。3年生は、梨専業農家の朝倉さんを招いて「なしはかせの話を書く会」を開き、梨作りの仕事の内容や工夫、苦労などを教えていただきました。梨は7月下旬から収穫が始まり、幸水、豊水、新高など多くの品種があります。9月の初めに小沢小学校では、地元でとれた梨を使った「小島梨の皮むき大会」を行います。1～6年生の全校児童が挑戦し、今年の最高記録は830cmでした。将来梨作りの後継者として活躍する子どももいることでしょう。



▲まだ小さい梨の実



▲なしはかせの話を書く会



▲小島梨の皮むき大会

2 東観音寺

東観音寺は、1200年以上前の天平年間に建立、開山したと伝えられています。鎌倉時代には、この地方で最強の寺勢を振るうようになったと言われ、戦国時代には、戸田宗光、今川義元らの手厚い保護を受けました。江戸時代に入ると、家康は小松原村一村一円の寺領102石を寄進し、後年漁船五隻を加えるなどの保護を与え、徳川家の祈願所としました。建物は以前海岸近くにありましたが、江戸時代の大地震による津波のため壊滅し、その後現在地に移転されました。本尊は馬頭観音で、今でも旧暦二月の二の午の日に「二の午大祭」が催され、多くの人でにぎわっています。小沢小学校の子どもたちも、とても楽しみにしているお祭りです。



▲東観音寺の多宝塔



▲五並中で育てている
アカウミガメの赤ちゃん

3 表浜海岸

太平洋に面したところは海拔60mほどの切り立ったがけになっており、その下に砂浜が広がります。今では砂が減ってきましたが、産卵シーズンの6月から7月にかけて、アカウミガメが上陸してきます。車の進入を制限したり、保護柵を設置したり、保護活動が進められています。アカウミガメの赤ちゃんはとてもかわいいです。